

# 組織目標評価報告書（令和6年度）

部局名:

薬学部

学域名:

医歯薬学域(薬)

部局長名:

上原 孝

目標・取組	目標・取組の達成状況(成果)及び新たに生じた課題等 (部局での検証とそれに対する取組)
<p><b>①教育領域</b></p> <p style="text-align: right; font-size: small;">関連する 中期計画の番号</p> <p>【教育】 ① 大学学部入学早期から「薬学研究入門(研究室滞在型授業)」を開講し大学院進学を視野に入れた研究活動への動機づけを図る。 ② 第2期薬学教育第三者評価(分野別認証評価)を踏まえ、PDCAを実施する。また、昨年度までに医療系他学部・学科と協議して構築した教育体制に基づき、医療系多職種連携教育を開始し、終了後は初年度の問題点と改善事項を協議する予定である。 【入試関係】 ③ 全学の高大連携活動に積極的に参加すると共に、志願者増に向けて、学部独自の高校訪問を継続する。特に、各高校の進学指導教員に、薬学科・創薬科学科の特徴を説明し、理系志望の受験生の薬学志向性向上を目指す。 【学生支援】 ④ 各種サポートが必要な学生に対する支援を継続する。 【留学生】 ⑤ 留学生獲得に向けて、協定校・協定機関と情報交換を行うとともに、私費外国人留学生の受入れに向けて在学中の私費外国人留学生の就学支援を組織的に行う。</p>	<p style="text-align: center;"><b>教育領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b></p> <p>① 1年次27名、2年次22名の学生に対して、「薬学研究入門(研究室滞在型授業)」を開講し、研究活動への動機づけを図った。 ② 第2期薬学教育第三者評価(分野別認証評価)を踏まえたPDCAとして、DP達成度評価を開始し、卒業研究実習の評価方法とカリキュラム・ツリーの見直しを行った。また、医療系多職種連携教育を開始し、初年度の問題点と改善事項を協議することで、次年度の充実を図った。 ③ 全学の高大連携活動に積極的に参加すると共に、学部独自に戦略的高校訪問を実施した。特に、高校の進学指導担当教員に創薬科学科の特徴の説明に努めた結果、本年の創薬科学科の志願倍率も4倍(前年2.3倍)となった。 ④ 合理的配慮が必要な学生に対して定期的な面談を行うとともに、車椅子学生の避難誘導マニュアルを作成し、教職員間で共有した。 ⑤ 留学生(OIMMY含む)数は昨年より4名増加し、11名となる。また、サンカルロス大学(フィリピン)を訪問し、留学生受け入れに向けた就学支援を行った結果、2名からの希望があった。加えて、成均館大学薬学部(韓国)と本学とのダブルディグリープログラム(博士後期課程)において、成均館大学から受け入れた博士後期課程学生1名が学位(博士)を取得した。</p>
<p><b>②研究領域</b></p> <p style="text-align: right; font-size: small;">関連する 中期計画の番号</p>	<p style="text-align: center;"><b>研究領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b></p>
<p><b>③社会貢献(診療を含む)領域</b></p> <p style="text-align: right; font-size: small;">関連する 中期計画の番号</p> <p>【地域社会との連携、社会貢献】 ① 地域の職能団体や学術団体と連携し、薬剤師や薬学関係職種就業者のリカレントや卒業教育を目的とする研修会を開催する。あわせて、広く一般市民や地域住民を対象に、医療や保健衛生にかかわる知識を啓発涵養するため、公開講座を開催する。 ② 中高生の薬学への理解を深めるため高大連携事業を推進するとともに公開講演会を開催する。 ③ 同窓生・卒業生・在校生の交流を促すため、岡山大学ホームカミングデイその他の行事にあわせ、来学者が気軽に会える機会を設ける。 ④ 来学者や地域の方々には薬学と自然とのかかわりを理解してもらうため、各種講演会や地域開放型行事にあわせて附属薬用植物園の一般公開を実施する。 【国際交流・協力】 ⑤ 成均館大学(韓国)、ハイフォン医科薬科大学(ベトナム)、サン・カルロス大学(フィリピン)、ウエイ州立大学(米国)との連携をさらに深めるとともに、交流協定(新規)締結に向けてバンメート大学(ベトナム)との協議を進める。</p>	<p style="text-align: center;"><b>社会貢献(診療を含む)領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b></p> <p>① 岡山県薬剤師会の協力を得て公開講座「現代の薬学」を7月に開催した。薬剤師、医療関係者及び一般の方計50名の参加があり、各講義では活発な質疑応答が行われた。地域の薬剤師の卒業教育のための有意義な機会を設けることができた。 ② 高校生および一般向けに、公開講演会を6月に開催した。102名の来学とオンライン形式で27名の参加があった。多くの方に薬学研究に触れて、より興味を持ってもらう機会となった。 ③ ホームカミングデイにおいて、附属薬用植物園の一般公開および薬学部同窓会と共催による同窓生シンポジウムを開催した。同窓生シンポジウムでは、薬学部卒業生に講演を頂き、在学生、卒業生および教員等と親睦を深める機会となった。 ④ 公開講演会や公開講座および高大連携事業による高校生の大学訪問(12回)の際に来学した高校生や一般の方々に附属薬用植物園を公開して薬用植物園について解説を行い、薬学と自然とのかかわりについて知識理解を深めてもらう機会となった。 ⑤ 2025年2月にサン・カルロス大学を訪問し、国際担当理事、保健学科長および薬学部長と、学部学生の相互派遣プログラム、ならびに若手教員の本学博士課程への進学推進について協議をおこなった。また、バンメート大学(ベトナム)との交流協定(新規)締結に向けてメールでの連絡をおこなった。</p>
<p><b>④管理運営領域</b></p> <p style="text-align: right; font-size: small;">関連する 中期計画の番号</p> <p>【部局組織の活性化】 ① 部局全体の活性化、効率化を図るため、教員個人や教員グループとの面談を通して、部局内での問題点や改善点を共有するとともに、多くの教員が参加できるプロジェクトを企画・立案し、関連他部局との協力も含めて適切な部局運営を行う。 【ダイバーシティの推進】 ② 令和10年度末までに女性教員割合19.5%を達成するために、今年度以降の薬学系教員の後任補充については原則、女性専用公募や女性優先公募を行い、さらに、研究・教育の場で活躍しやすい環境を作る等受入体制を整備するなど、積極的に女性教員の獲得を行い、目標値の達成を目指す。 【効率的・戦略的な予算配分・執行】 ③ 部局の予算が逼迫しているため、省エネ意識の喚起等により経費節減を行い、各執行状況について見直し、引き続きより効果的な予算執行を目指すとともに、積極的に外部資金の獲得を目指す。 【安全衛生に対する配慮】 ④ 職員の労働安全衛生に配慮するため、適切な管理活動計画を立案し、それに基づいた適正な安全衛生活動を推進する。</p>	<p style="text-align: center;"><b>管理運営領域における目標・取組の達成状況及び新たに生じた課題等</b></p> <p>① 教員個人や学部長室メンバーとの面談を介して、講義体制の見直し、共同研究計画、外部資金獲得などに関する情報交換を行った。一方、今期は部局構成全員と面談する時間が無く、来年度は計画的に実施することを目標とする。 ② 女性教員割合を増やすため、2件の教授職の女性教員限定公募を実施し、令和7年4月1日付けで女性教授2名を採用することになり、女性教員割合13%を達成することになった。引き続き、令和10年度末までに19.5%の目標値を達成できるよう教員人事を進める。また、この度採用する女性教授の研究室に、新たに女性の助教の採用を目指しており、国立大学薬学部としては初の女性だけの研究室を設けることを計画している。 ③ 研究室等で使用したエアコン稼働実績(電気・ガス)を各教員へ通知し、省エネ意識の喚起を行った。また、エネルギー削減の一環として、9月、3月に16時早期退勤を促す「薬学部e活」を実施するなど省エネに対する独自の取組を実施し、光熱水料の削減を図った。科学研究費の獲得について、薬学部執行部で薬学系教員に積極的な申請を促し、特に近年採択のない教員については、研究科長との戦略面談を行うなど、薬学系だけにとどまらない攻めの取組を実施した。このことにより、継続課題のない薬学系教員については前年に引き続き申請率100%を達成、さらに特任教員の申請率も100%に達成することができた。また、申請をするにあたり、今年度は原則として別教員による2回添削を実施した結果、新規採択率が向上し、薬学系教員における科研費取得率は73.5%となった。 ④ 適切な管理活動計画を立案し、それに基づいた適正な安全衛生活動を推進した。毎月の教員会議において全学の事件事故を報告し、特に学生の事故への注意喚起に努めた。また、遮光カバー等で廊下側から部屋の中が全く見えなくしている研究室に対して、防災確認のため、一部部屋が見えるようカバーに変更するよう指示を行った。</p>

注1) 本様式全体が1ページに収まるよう作成してください。

注2) 自己評価による達成度(5~1)は非公表項目とし、組織目標評価結果を公表する際に消去します。